

## ケデロンの谷を渡る

2014年12月19日 アシェル・イントレーター

皆さんはヨハネ 18:1 に書かれている「園」という言葉に気づきましたか。「イエスはこれらのことを話し終えられると、弟子たちとともに、ケデロンの川筋の向こう側に出て行かれた。そこに園があって、イエスは弟子たちといっしょに、そこに入られた。」

どの園なのでしょう。それは、ゲッセマネの園です。どの「言葉」でイエシュアは話し終えたのでしょうか。それは、ヨハネ 17 章の祈りです。イエシュアは主の弟子たちが一致し、栄光を受け、この世において守られるよう祈られました。それは、主が天に戻られるからです。

イエシュアはこのすばらしい祈りを恐らくシオンの丘で弟子たちのために祈られましたそしてケデロン谷を渡ってゲッセマネで血と汗を流す祈りをされました。この二つの祈りはおよそ1時間離れています。そこには霊的なつながりがあります。

ゲッセマネの祈り、「わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのように、なさってください。」マタイ 26:39、は、ヨハネ 17 章の祈りへの応答でした。主は十字架上の死にまで従い、地獄へ降りられました。それは、主の弟子たちのための祈りが成就するためでした。

この最も出来事の多いタベには、以下がありました。

1. シオンの丘の階上の部屋に到着
2. 過越の食事を共に取る
3. 主の晩餐の契約を結ぶ
4. ヨハネ 17 章の祈りを祈る
5. ケデロンの谷を渡る
6. ゲッセマネの園に入る
7. 「わたしの願うようにではなく」の祈りを祈る
8. 逮捕される
9. 大祭司の前に引き出される
10. ピラトの前に引き出される

短くしますと、

1. 過越の祭
2. 主の晩餐
3. ヨハネ 17 章
4. ゲッセマネ
5. 十字架。

イエシュアはすべての栄光に満ちた事を成就するために十字架にかけられました。主は弟子たちのためにヨハネ 17 章の祈りを祈られました。ゲッセマネでは、主はご自身を犠牲にしてヨハネ 17 章の祈りを成就させるおつもりでした。私たちの栄光に満ちた神のご計画のための主の祈りには、完全な献身を求められる主の祈りを必要とし、それは私たちのために十字架にかけられる事へとつながるのです。

この祈りの直後、兵士が来て主を捕らえました。主はあまりにも聖であられ、力に満ちておられたため、主が「私とその人物だ」と答えたとき、その兵士は後ろ向きに倒れました(ヨハネ 18:6)。献身と愛を伴って、私たちがゲッセマネでのヨハネ 17 章の祈りをイエシュアと共にしたならば、大いなる力が神の御国のために解放されるでしょう。

## ベイト・ネタネルオープンハウス

### ラケルとギラッド

最近、私たちは 12 人の友だちを安息日の食事でもてなしました。テーブルを囲んでそこには私が福音を分かち合った、様々な人生の歩みをした人々がいました。私の(家の)ボイラーを直した人とそのガールフレンド、あるレストランからのナフムさん、私のネイルを手入れしてくれたミシェルなど、それぞれが互いに知らないのですが、すばらしい交わりの時を過ごしたのを見て、私は驚きました。もちろん私は主の事を話しました。私は彼らと連絡を取り続けており、これをまたすぐに行いたいと思っています。

どうかこの 12 人のグループのために、クリスマスの祝日(多くのイスラエル人はこの祝日に魅力を感じています)の間に行う予定のオープンハウスのためにお祈り下さい。私たちは 50 人を越える未信者が来ることを期待しており、彼らと福音を語る機会を持つと思っています。

## イスラエル総選挙

イスラエルでの総選挙まであと3ヶ月となりました。驚く事に、この小さな国にすでにあまりにも多くの政治政党があり、今週あと2つの重要な政党が立ち上がります。

最初のは、リクード党の前代表であったモーシェ・カーロンは中道の主流派の党を立ちあげ、社会福祉と公正さを議題としています。カーロン氏はヤイル・ラピードの党からいくつかの票を取るであろうと思われます。カーロン氏は今や、この状況における「新顔」であるからです。そしてさらにシャス党からも票を取ると考えられます。それは、カーロン氏は自身がセファルディ系のユダヤ人だからです。カーロン氏は意図的に中道派とし、たとえ政府が左派または右派によって運営されようとも、彼はどの政府であってもその一員となろうとしています。

二つ目の党はシャス党のナンバー2であったエリ・イシャイによって立ちあげられました。これが意味する事は、セファルディ系正統派の間で明かに分裂が起こっている事で、シャス党の現在のトップであるイシャイとアルイェ・デリ両方が、オバデヤ・ヨセフの力の源泉の後継者であると宣言しています。

注:セファルディ系ユダヤ人は地中海沿岸(スペイン・リベリア半島からぐるっと北アフリカ沿岸)に分布していたユダヤ人の子孫たちを指す。

注:オバデヤ・ヨセフ師:宗教政党シャス党(超正統派)の霊的指導者。

## ナザレから何の良いものが出るだろう。

グレタ・マヴロ

12月14日曜日、私はガブリエル・ナダフ司祭とクリスチャン従軍フォーラム(CRF)の主催のイベントに参加しました。ベニヤミン・ネタニヤフ首相、兵士たち、警察官たち、そして多くの招待客がナザレ・イリットに集まり、アラビア語を話すクリスチャンがイスラエル人社会に溶け込むという彼らの共通のビジョンを祝いました。

首相はイスラエルを防衛し、守備するクリスチャン兵士を讃えました。それは、彼の政府が少数派にも手を伸ばし、何の例外もなく全ての市民の宗教の自由を守る事を誓いました。ネタニヤフ氏が中東におけるクリスチャンの窮状について述べ、彼は「友人」であり「兄弟」であると宣言しました。神は主の民の心に何か永遠なものをされていると私は知っています。

CRFと(ギリシャ)正教の統括者として、ナダフ司祭は中東にいるクリスチャンとイスラエルの運命は共通であると宣言し続けています。この生まれたばかりのアラビア語を話すクリスチャンであるアラム人はイスラエルにおいて真実と国家的同一性を求める路上にあります。CRFの動画で、このイベントの始まり部分に十字架がイスラエルの旗と一緒に何度も流れた事について、私は「ユダヤ系イスラエル人の招待客がみじんも気を悪くしていない事を感じました。

事実、二人の男性、一人はユダヤ人で一人はクリスチャン(ギリシャ)正教徒で、共に互いを讃え、

守る事で一つとなるのは、それはまた強力な預言的な図でした。ネタニヤフ首相とナダフ司祭、そしてその司祭の二人の息子たち、同じ古代の信仰、それやゆっくりとした意味のある歩み寄りを経て、互いに向き直り、温かい抱擁をし、互いに尊敬しました。

注: 最近の「アラム人」について: 東方教会(ギリシャ正教、シリア正教、アルメニア正教、ロシア正教など)の信者でイスラエルに住む人々は、基本「アラブ人」の一員とされてきましたが、ナダフ師は率先してギリシャ正教の若者たちに従軍を勧め、そしてイスラエル政府に「自分たちはアラブ人ではなく、「アラム人」という登録を許可してほしい」と願い、それが受理されました。

### 性的純潔に歩む

4つの動画の一つ目に、コディ・アーチャーは若い時ポルノで苦しんだ彼自身の人生について述べています。その次の3つの動画では、彼はそれを克服し、性的純潔における勝利を得た鍵について述べています。鑑賞する場合こちらを[クリック](#)。